

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第102回

(平成25年7～9月期)

平成25年12月

桐生商工会議所

桐生中小企業相談所

1. 景況の動き

[業況D I]

今期の業況D Iは、全体で - 2 4。前期 (- 3 0) と比べ6ポイントのプラスとなった。また前年同期 (- 4 0) 比では16ポイントのプラスとなった。

業種別では、**建設業** ± 0 (前期比 + 1 9、前年同期比 + 3 9)、**商業・サービス業** - 4 8 (前期比 - 3、前年同期比 + 5)、**機械金属製造業** + 1 4 (前期比 + 7、前年同期比 + 3 0)、**繊維製造業** - 2 4 (前期比 + 9、前年同期比 + 1 2) となった。

[採算D I]

今期の採算D Iは全体で - 3 1。前期 (- 3 2) と比べると1ポイントのプラス、前年同期 (- 4 3) と比べると12ポイントのプラスとなった。

業種別では、**建設業** - 2 7 (前期比 - 2、前年同期比 + 1 2)、**商業・サービス業** - 5 1 (前期比 + 3、前年同期比 ± 0)、**機械金属製造業** + 5 (前期比 - 2、前年同期比 + 3 2)、**繊維製造業** - 1 8 (前期比 + 1 6、前年同期比 + 2 1) となっている。

[来期業況D I]

来期の業況予測D Iは全体で - 2 2。前期 (- 2 6) と比べると4ポイントのプラス、前年同期 (- 4 0) 比では16ポイントのプラスであった。

業種別では**建設業** - 2 1ポイント (前期比 + 4、前年同期比 + 6)、**商業・サービス業** - 3 7ポイント (前期比 - 6、前年同期比 + 1 7)、**機械金属製造業** + 1 9ポイント (前期比 + 1 5、前年同期比 + 4 2)、**繊維製造業** - 2 3ポイント (前期比 + 1 6、前年同期比 + 4) となっている。

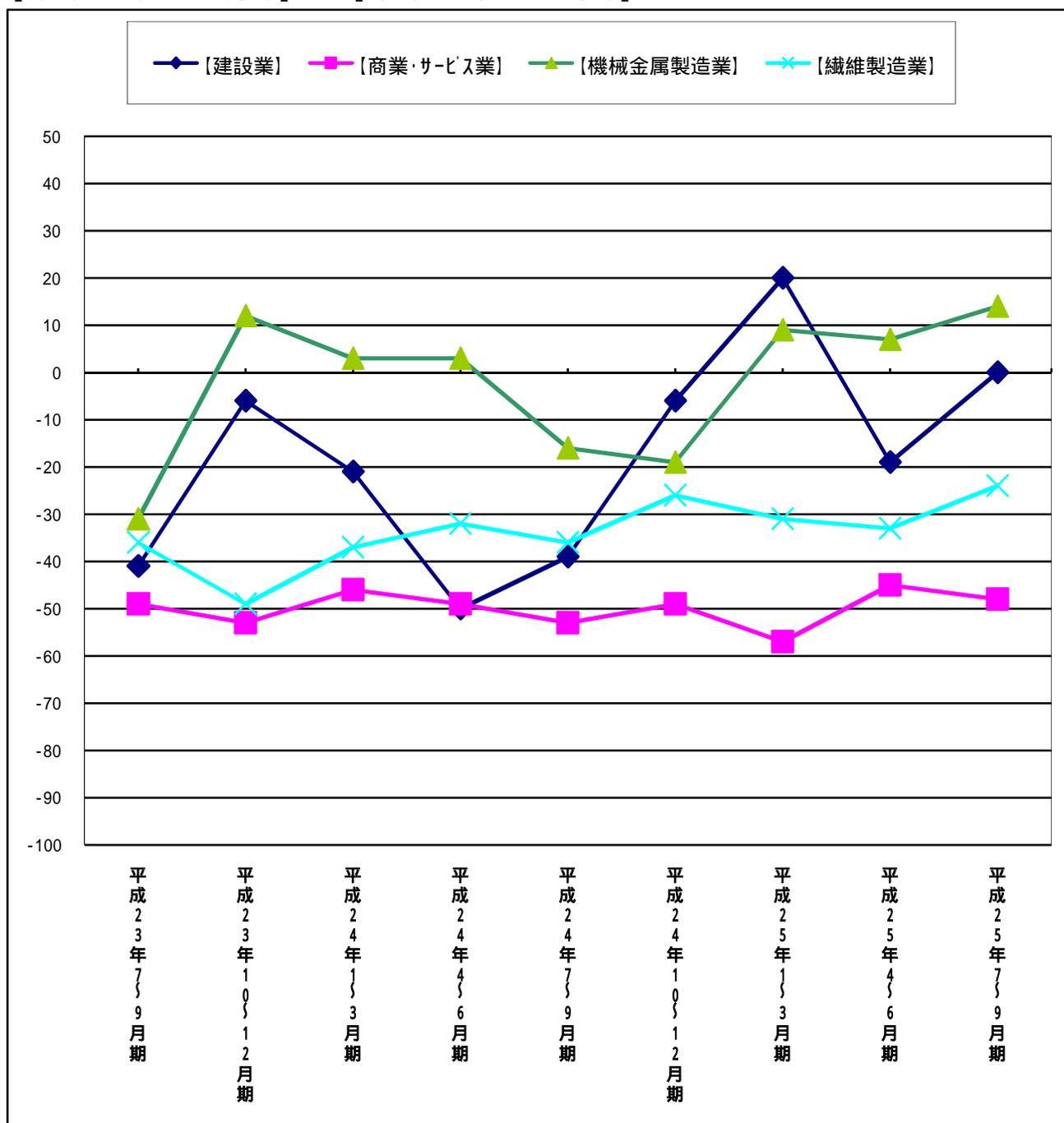
[経営上の問題点]

経営上の問題点としては、**建設業**では「民間需要の停滞」(1 5 %)「大企業進出での競争激化」(1 3 %)「民間需要の停滞」(1 3 %)、**商業・サービス業**では「需要の停滞」(2 3 %)「消費者ニーズの変化への対応」(1 3 %)、**機械金属製造業**では「製品単価の低下・上昇難」(2 1 %)「需要の停滞」(1 7 %)、**繊維製造業**では「需要の停滞」(2 2 %)「製品単価の低下・上昇難」(1 9 %) となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成23年7～9月期	-41	-49	-31	-36
平成23年10～12月期	-6	-53	12	-49
平成24年1～3月期	-21	-46	3	-37
平成24年4～6月期	-50	-49	3	-32
平成24年7～9月期	-39	-53	-16	-36
平成24年10～12月期	-6	-49	-19	-26
平成25年1～3月期	20	-57	9	-31
平成25年4～6月期	-19	-45	7	-33
平成25年7～9月期	±0	-48	14	-24

[平成23年7～9月期] から [平成25年7～9月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

今期業況 今期の業況DIは±0。前期比は+19、前年同期比は+39であった。

業種別では建築・大工業〔±0〕、土木業〔-67〕、電気工事業〔+67〕、その他〔±0〕であった。

来期業況 来期業況予測のDIは-21。前期比で+4、前年同期比では+6ポイントであった。

【商業・サービス業】

今期業況 今期の業況DIは-48。前期比は-3、前年同期比は+5ポイントであった。

業種別では、卸売業〔-33〕、小売業〔-52〕、飲食業〔-57〕、サービス業では〔-39〕となっている。

来期業況 来期業況予測のDIは-37。前期比-6、前年同期比では+17ポイントとなった。

【機械金属製造業】

今期業況 今期の業況DIは+14。前期比では+7、前年同期比では+30ポイントであった。

業種別では、鉄鋼業〔+20〕、非鉄金属業〔-100〕、金属製品業〔±0〕、一般機械器具業〔-17〕、電気機械器具業〔±0〕、輸送用機械器具業〔+40〕、精密機械器具業〔+33〕、プラスチック製造業〔+17〕、その他〔+20〕となっている。

来期業況 来期業況予測のDIは+19。前期比+15、前年同期比+42ポイントとなった。

【繊維製造業】

今期業況 今期の業況DIは-24。前期比では+9、前年同期比では+12ポイントであった。

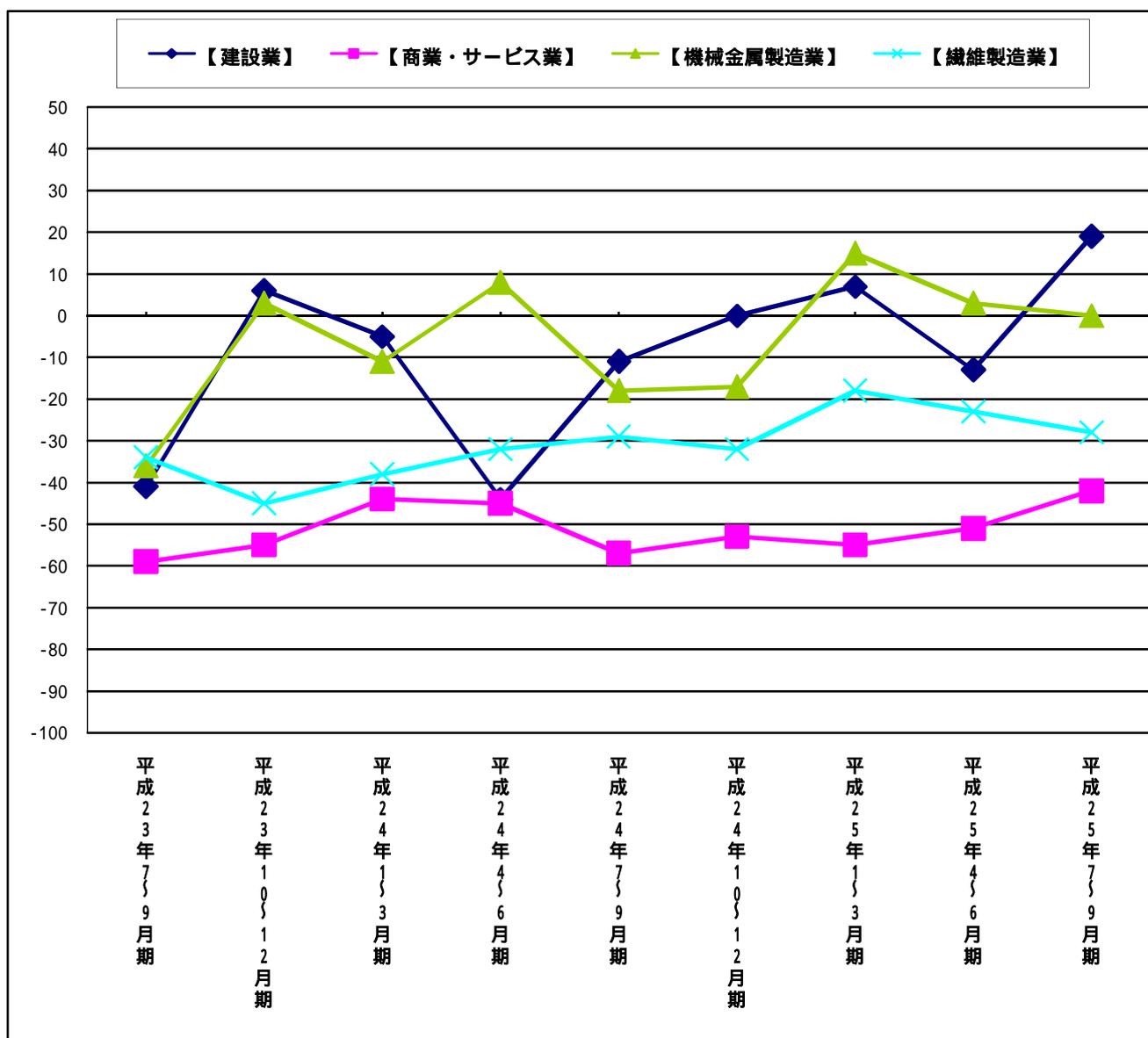
業種別では、燃糸業〔±0〕、織物業〔-17〕、染色整理業〔-25〕、ニット・メリヤス業〔-33〕、レース業〔-100〕、縫製業〔-29〕、刺繍業〔-20〕となっている。

来期業況 来期業況予測のDIは-23。前期比+16、前年同期比+4ポイントとなった。

売上額（完成工事額）DIの推移

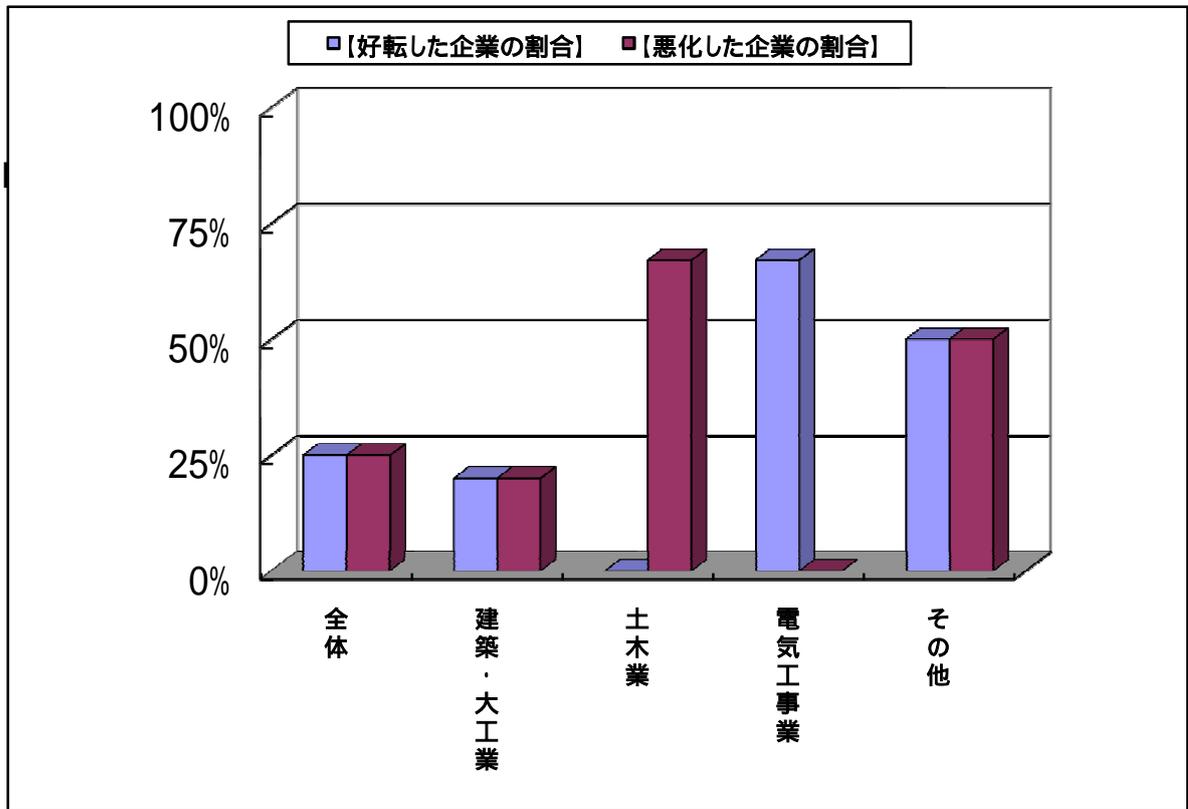
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成23年7～9月期	-41	-59	-36	-34
平成23年10～12月期	6	-55	3	-45
平成24年1～3月期	-5	-44	-11	-38
平成24年4～6月期	-44	-45	8	-32
平成24年7～9月期	-11	-57	-18	-29
平成24年10～12月期	±0	-53	-17	-32
平成25年1～3月期	7	-55	15	-18
平成25年4～6月期	-13	-51	3	-23
平成25年7～9月期	19	-42	0	-28

[平成23年7～9月期] から [平成25年7～9月期]

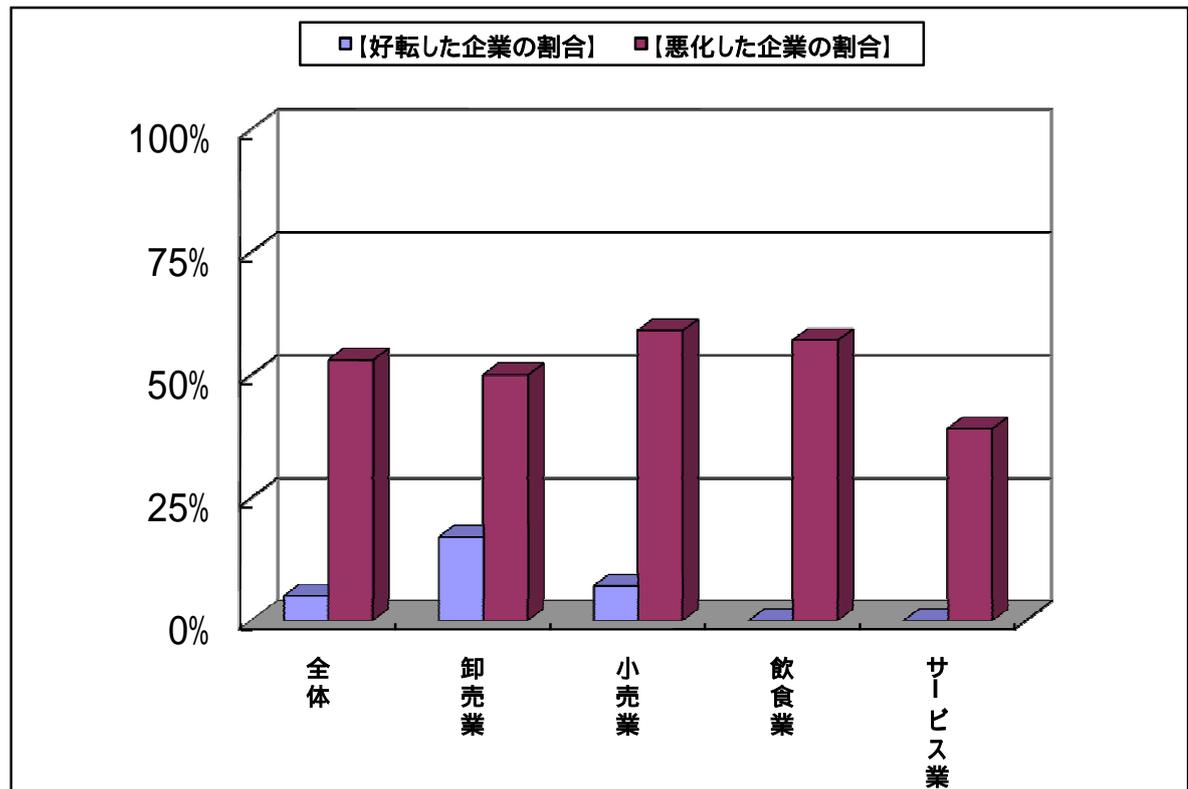


業種別売上額（完成工事額）の状況 前年同期比

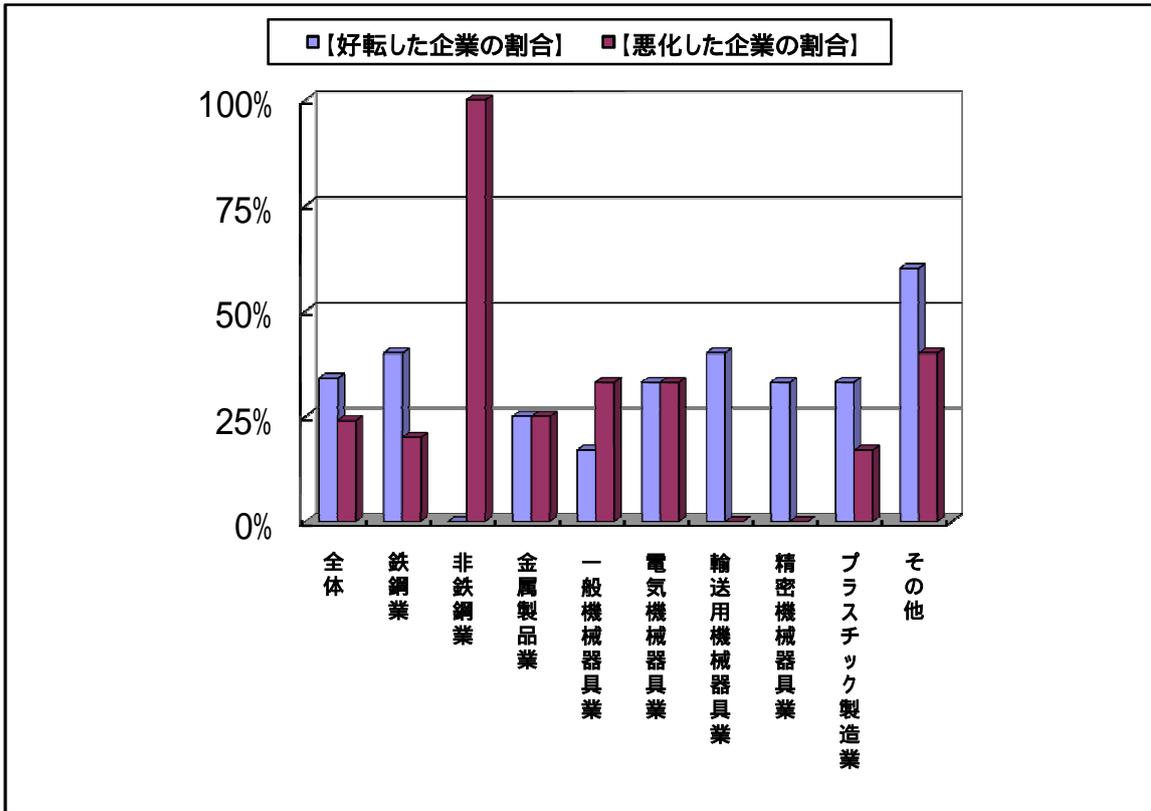
【建設業】



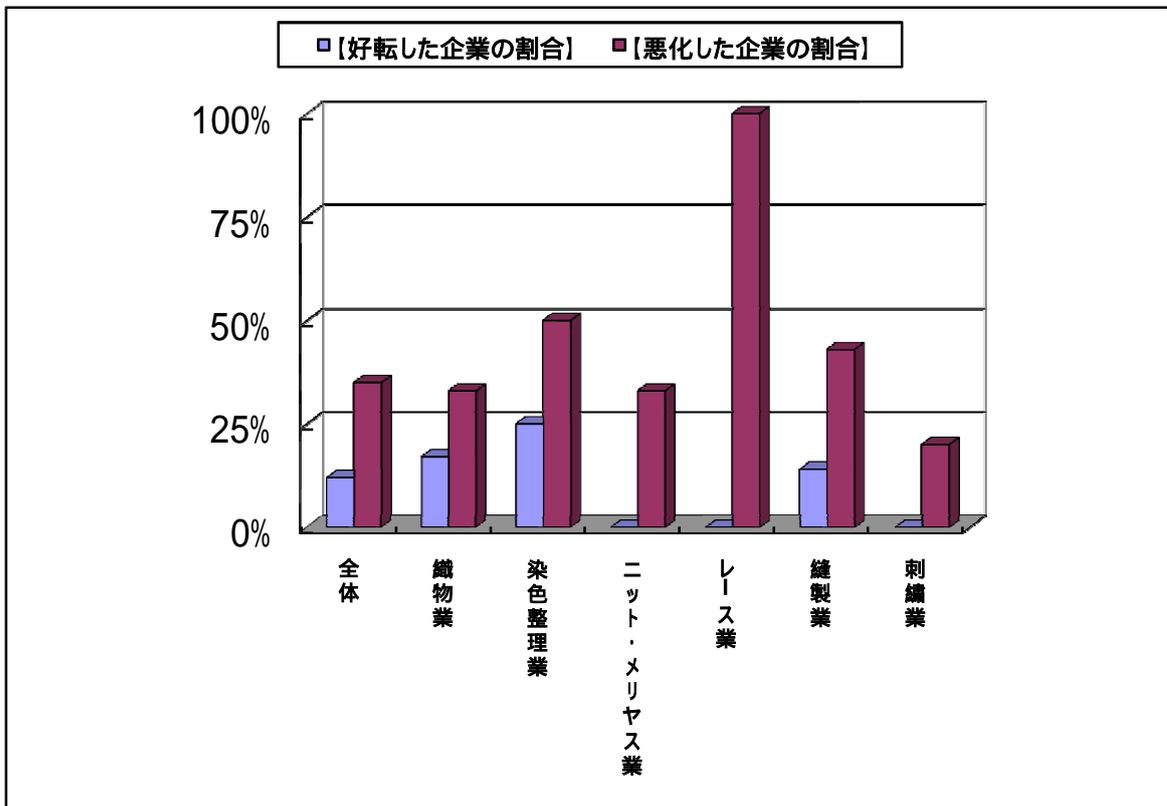
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



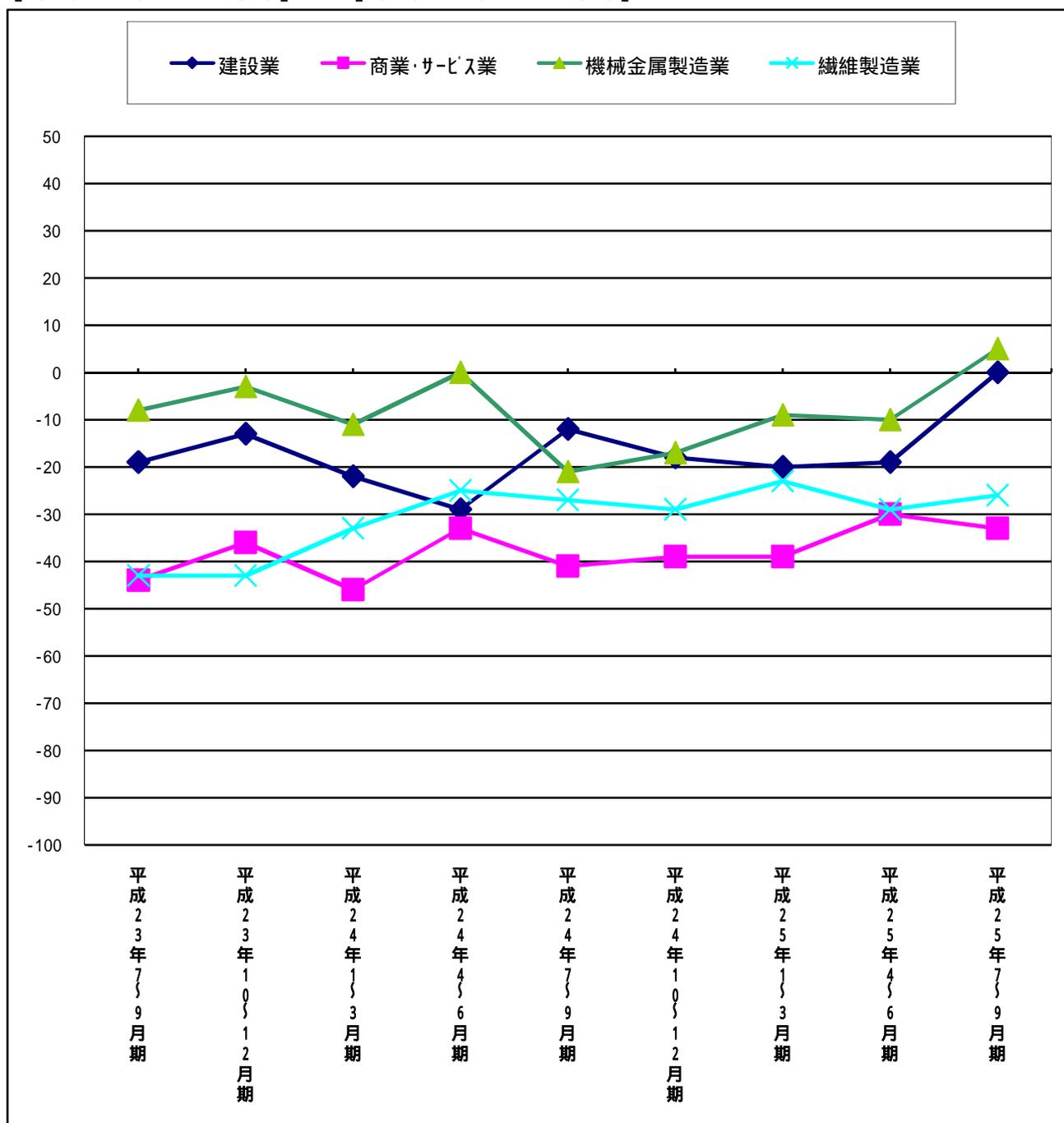
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成23年7～9月期	-19	-44	-8	-43
平成23年10～12月期	-13	-36	-3	-43
平成24年1～3月期	-22	-46	-11	-33
平成24年4～6月期	-29	-33	0	-25
平成24年7～9月期	-12	-41	-21	-27
平成24年10～12月期	-18	-39	-17	-29
平成25年1～3月期	-20	-39	-9	-23
平成25年4～6月期	-19	-30	-10	-29
平成25年7～9月期	±0	-33	5	-26

[平成23年7～9月期] から [平成25年7～9月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)	
建設業	官公需要の停滞 14.9	民間需要の停滞 12.8	大企業進出での競争激化 12.8	材料価格の上昇 10.6	下請単価の上昇 8.5	請負単価の低下・上昇難 8.5
	前期 6位 6.5	2位 19.6	8位 4.3	3位 8.7	5位 8.7	1位 21.7
	前年同期 3位 14.6	1位 22.9	6位 4.2	4位 12.5	8位 2.1	9位 18.8
商業・サービス業	需要の停滞 22.5	消費者ニーズの変化への対応 13.4	購買力の他地域への流出 11.5	大企業進出での競争激化 10.5	材料等仕入単価の上昇 7.2	販売単価の低下・上昇難 7.2
	前期 1位 19.3	2位 14.2	4位 12.7	3位 13.7	6位 5.9	6位 5.9
	前年同期 1位 22.1	3位 13.5	3位 10.4	6位 8.5	5位 9.0	4位 9.9
機械金属製造業	製品単価の低下・上昇難 20.5	需要の停滞 16.9	製品ニーズの変化への対応 12.0	原材料価格の上昇 10.8	生産設備の不足・老朽化 9.6	
	前期 1位 23.0	2位 16.4	5位 8.2	3位 14.8	4位 11.5	
	前年同期 1位 25.6	2位 18.6	4位 9.3	5位 8.1	3位 10.5	
繊維工業製造業	需要の停滞 21.6	製品単価の低下・上昇難 18.6	原材料価格の上昇 13.4	生産設備の不足・老朽化 7.2	取引条件の悪化 6.2	
	前期 1位 26.4	2位 20.9	4位 11.0	5位 7.7	5位 7.7	
	前年同期 2位 18.6	1位 25.6	5位 8.1	3位 10.5	9位 2.3	

今期の従業員数D I

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成23年7～9月期	0	-15	-8	-22
平成23年10～12月期	20	-11	-13	-13
平成24年1～3月期	6	-3	5	3
平成24年4～6月期	0	-1	0	-9
平成24年7～9月期	-13	-11	-6	-16
平成24年10～12月期	0	-8	-12	-6
平成25年1～3月期	7	-5	16	-6
平成25年4～6月期	6	-11	23	-10
平成25年7～9月期	6	-4	8	-9

事業所からのコメント（直面している問題点など）

【建設業】

- ・燃料費を含む材料費、人件費等の経費が増加している。
- ・畳業界も9月に入り民間需要が上昇している。

【商業・サービス業】

- ・景気の停滞。小売商業店にとっては景気の好況感はなし。
- ・来週の消費税8%は痛い。国債発行1,107兆円では仕方ないかと思う。デフレ不況は未だ継続しているが、日本の将来のためには通らねばならない難関かも知れない。アベノミクスが腰折れしないように望んでいる。米エール大名誉教授・浜田宏一氏の言うように1年延期が現実的だと思っているが、中小企業の固定資産税と減税とセットなら...
- ・消費税増税後が大変気になります。空き店舗が急増するかもしれない（自店も含めて）
- ・高齢の客が多いため老人ホームに入ったり亡くなったりで客数が減少。
- ・少子高齢化による購買力の減少による売上減。
- ・通販の浸透により販売単価の下落を受け、利益の出にくい体質になっている。
- ・首都圏、東海、東南海の大災害に対する備えが無い。地方に与える影響は甚大で危惧される。
- ・売上は多少増加傾向であるが、食材の値上がりで経営は非常に厳しい。

【機械金属製造業】

- ・単価の低下でどうやって利益を出すか。

【繊維製造業】

- ・テレビ等のニュースで景気回復や賃金上昇等の良い話を聞くが実際のところ、その様な感じは全くなく厳しい状況が続いている
- ・新商品が提供出来ない
- ・電力料金